台湾高雄・国立中山大学　短期留学報告

農学部 農学科 動植物資源生命科学コース 1年（氏名 喜納昂平）

〇留学先：台湾高雄・国立中山大学

〇留学プログラム名：UAAT-KOOU 華語プログラム

〇留学期間：2026 年 8 月 24 日～2026 年 9 月 18 日

〇渡航時の学年：1年次

・留学に至った経緯について：

私は大学に入学した当初から、大学生のうちに必ず留学を経験したいと考えていました。特に韓国や台湾に強い関心があり、いつか現地で学びたいという思いをずっと抱いていました。そのため、国際連携課から届くメールや大学からの各種案内には日頃から注意を払い、留学に関する情報をこまめに確認するよう心がけていました。

そうした継続的な情報収集の中で今回のプログラムを知り、内容を詳しく調べるうちに「これなら自分の興味や目的に合っている」と感じました。特に、現地で中国語を学べる点、台湾の文化に触れられる体験活動や課外活動が充実している点、そして他の留学プログラムと比べて参加費が比較的安く、学生にとって参加しやすい点に魅力を覚えました。短期で参加できることも、自分の学業との両立を考えるうえで大きな利点でした。このような経緯を経て、今回の留学に至りました。

〇渡航前の手続について

・大学での手続について：

留学の申込手続きでは、まず国際連携課へ参加の意思を伝え、指定された申込書を提出します。申込書にはパスポート番号の記入欄があるため、台湾に限らず海外渡航に少しでも興味がある学生は、早めにパスポートを取得しておくことをおすすめします。なお、現在パスポートを持っている場合でも、入国時点で有効期限が 6 か月以上残っていなければ渡航できないため、期限の確認が必要です。パスポートの発行や更新には通常 1～2 週間ほどかかるため、余裕をもって準備しておくと安心です。

申込書の提出が完了すると、大学側で海外研修に必要な保険加入の手続きが始まります。案内に沿って必要事項を記入するだけでよく、特別に複雑な作業はありません。これらの手続きはいずれも難しいものではなく、順番に進めていけば問題なく完了できます。

・査証取得：

日本出発前には、公式サイト（TWAC）で台湾入国カードの事前登録を行います。申請は入国予定日の7日前から直前まで可能で、登録にはパスポート情報、メールアドレス、滞在先情報などが必要です。なお、90 日以上台湾に滞在する場合はビザの取得が必要ですが、1か月の短期留学であればオンライン入国カードの申請だけで問題ありません。

・留学奨学金の有無（ ☑有 ・ □無 ）

奨学金として約 24,000 台湾ドルが支給されますが、そのうち半分は学費として使用されます。そのため、実際に受け取る金額は約 12,000 台湾ドル（約 60,000 円）となります。奨学金は授業開始から 1 週間後にまとめて現金で受け取りました。

注意点として、授業の欠席時間が 12 時間を超えると奨学金を返済しなければならないため、授業はできるだけ欠席しないようにしてください。

〇留学体験記：

費用面については、まず飛行機の往復代が約 100,000 円でした。予約の時期やタイミング、利用する空港によって金額は変動しますが、一般的には往復で約 60,000～100,000 円になることが多いです。

生活費については、宿泊先のホテル代が 7,000 台湾ドルで、支払いはチェックイン時にまとめて行いました。ホテル代は現金だけでなくカードで支払うことも可能です。奨学金は授業開始から 1 週間後に支給されるため、それまでの生活費として最低限 10,000 円ほどは両替しておくと安心です。なお、両替は日本国内よりも現地の空港で行う方がレートが良い場合が多くおすすめであり、現地での両替は手続きも難しくないため心配する必要はありません。食事代や交通費、お土産代などの現地での支出もありますが、これらは支給される奨学金 12,000 台湾ドルの範囲で十分に賄えると感じました。

宿泊したホテルは日本のホテルとは異なり、毎日清掃が入るわけではありません。必要な場合は 100 台湾ドルを支払うことで清掃を依頼できます。また、部屋によってはトイレットペーパーが備え付けられていないこともあります。少し注意が必要です。ホテル内には洗濯機と乾燥機が設置されており、それぞれ 30 台湾ドルで利用できます。ただし、洗剤は備え付けられていないため、日本から持参しておくことをおすすめします。また、ホテルの WIFI 環境は全体的に安定しておらず、通信速度が遅いと感じる場面が多くありました。そのため、滞在中の通信手段としては、eSIM を無制限プランで契約しておくことを強くおすすめします。

授業は、留学前に受験する TOCFL の結果をもとに基礎クラスと初級・中級クラスの二つに分けられます。私は基礎クラスに所属し、約 1 か月間授業を受けました。授業は週 5 日、朝 9 時から始まり、50 分授業と 10 分休憩を繰り返して正午まで学習するというスケジュールでした。授業内容は基本的に教科書に沿って進められます。まず、教科書に掲載されている単語だけでなく、関連する語彙や文法を確認し、理解を深めます。次に、教科書の例文を使って会話練習を行うという流れが毎回の授業の中心でした。私は中国語をほとんど勉強したことがありませんでしたが、基礎から丁寧に進めてくれるため、安心して授業を受けることができました。

特に印象に残っているのは、「とにかく自分で使う」ことが重視されていた点です。日本の授業のようにノートを取る時間はほとんどなく、発音し、会話し、実際に使ってみることが中心でした。先生は発音について粘り強く指導してくださるため、授業中も自信をもって話すことができました。また、教科書の内容だけでなく、先生が私たちに質問を投げかけ、即興で答える場面も多くあり、学んだ表現をそのまま実践できる機会が豊富でした。授業で習った表現が現地で実際に通じたときには、学びが生活に直結したように感じられ、大きな達成感を得ることができました。

授業だけでなく、台湾の文化に触れられる体験活動や課外活動も非常に充実していました。週に 2 日は午後にそのような時間が設けられており、教室の外で台湾の文化や生活を体験できる貴重な機会となっていました。活動内容は多岐にわたり、篆刻体験やシュガーペインティング体験、台湾料理作り体験など、台湾の伝統文化に直接触れられるものが多くありました。また、水上アクティビティなどの体を動かす活動もあり、授業とは違った形で台湾の魅力を感じることができました。さらに、地元の観光地を訪れ、ガイドの説明を聞きながらその土地の歴史や文化について学ぶ時間もあり、教科書では得られない学びが得られました。
週末には台南や部落などへバスで移動し、地域ごとの文化や雰囲気を体験する機会もありました。現地の人々の暮らしや伝統に触れることで、台湾という国をより深く理解でき、短期留学でありながら非常に濃い経験を積むことができました。



食事については、朝はバスの待ち時間を利用して、ホテル近くのローカルな朝食店で肉まんを買って食べることが多くありました。平日の昼食は学食を利用したり、大学周辺の飲食店で手軽に済ませたりすることができました。夜は、先生におすすめしていただいたお店や、ネットで評価の高い店、さらに夜市などを訪れ、台湾ならではの食文化を楽しみました。さらに、台湾では 50 嵐や CoCo 都可などのドリンクスタンドが街中に数多くあり、本場のタピオカミルクティーや紅茶ラテを気軽に楽しめます。店舗ごとに味やメニューが異なるため、飲み比べてみると台湾の食文化をより深く味わうことができると思うのでおすすめです。また、マクドナルドや KFC などのファストフード店にも日本とは異なるメニューがあり、こうした違いを楽しむのも良い経験となりました。



注意点として、生の海鮮や夜市で売られている生の果物には、極力手を出さない方が安全です。衛生面が日本と異なる場合があり、体調を崩す可能性があるためです。また、現金しか使えない店も多いため、常にある程度の現金を持ち歩いておくと安心です。

事前に準備しておくべきものについて記しておきたいと思います。

・水筒
→台湾では駅やホテル、大学などに給水機があるためそれを入れるための水筒を持ち歩いておくと便利です。荷物に余裕がないなら、現地で使ったペットボトルでも良いと思います。
・おしりふき
→トイレットペーパーがないところもあるため、常に持ち歩いておくと良いと思います。
・除菌シート
→おしぼりは基本的に出ないので持っていると良いと思います。
・雨具＆サンダル
→渡航前に天気予報を調べてください。もし雨が多いのなら持っていくのを強くおすすめします。
・虫よけスプレー＆かゆみ止め
→夏は蚊が多く、プログラム中は外を歩くことも多いので持っておくと良いと思います。
・上着
→冷房の効いたところが多いので、寒さ対策として持っていくと良いと思います。

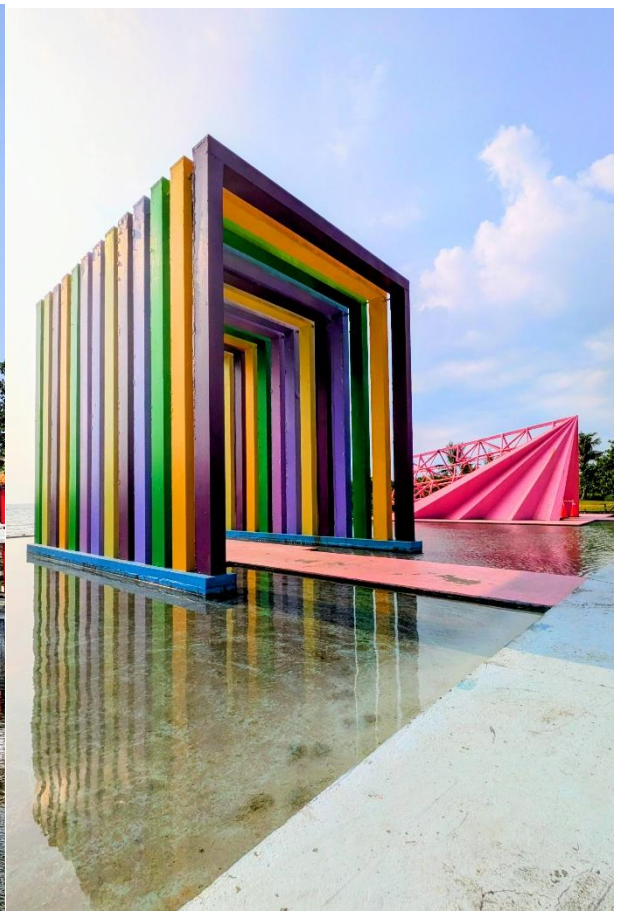
〇今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ

私は留学に行くことが正しいとは言いません。しかし、海外に少しでも興味がある人には、留学に挑戦することを強くおすすめします。私は「行っても行かなくても、どうせ後悔するなら挑戦した方がいい」と思い、一歩を踏み出しました。慣れない環境に不安を感じる人もいるかもしれませんが、やらずに終わってしまうことの方が、ずっともったいないと感じます。

このプログラムには１年生だけでなく、2・3年生、さらには４年生も参加しており、幅広い学年の学生と交流することができました。中には、韓国に１年間留学するために休学していた人や、海外の大学院への進学を目指して準備を進めている人もいました。こうした多様な経験を持つ学生と話すことで、自分の知らなかった進路や価値観に触れることができ、普段の大学生活では得られない学びを多く得ることができました。留学は、語学だけでなく「人との出会い」から得られる学びが非常に大きいと実感しました。

大学生活は思っている以上にあっという間に過ぎていきます。「いつか行こう」と考えているうちに時間はすぐに流れてしまいます。だからこそ、興味を持った今のタイミングで行動することが大切だと改めて実感しました。






NATIONAL SUN YAT-SEN UNIVERSITY
國立中山大學
This Certificate is awarded to
Kohei KINA
for successful completion of
Mandarin Chinese Courses
with 100 class contact hours
from August 24, 2026 to September 18, 2026
NATIONAL SUN YAT-SEN UNIVERSITY
國立中山大學
NATIONAL SUN YAT-SEN UNIVERSITY
國立中山大學